

建設業と地域の元気回復事業

1. 趣旨

地域の建設業は、地域経済や雇用のそれぞれ約1割を担う基幹産業であるが、建設投資の減少、価格競争の激化、景気の悪化等、地域の建設業を取り巻く経営環境はかつてない厳しい状況となっているとともに、地域経済も厳しい状況となっている。

こうした状況の中、建設業の保有する人材、機材やノウハウ等を活用し農業、林業、福祉、環境、観光等の異業種との連携等により、地域づくりの担い手である建設業の活力の再生、雇用の維持・拡大や地域の活性化を図ることが求められている。

このため、地域における問題意識を共有した上で、建設業団体や地方公共団体など地域関係者が協議会を構成し、地域の合意形成等を促進しながら、異業種との連携等による地域活性化に資する事業の立ち上げを支援する。

2. 事業実施主体

建設業団体、地方公共団体等からなる協議会

(事業管理者は、都道府県、市町村又は、法人格を有する建設業団体)

3. 支援内容

- ・事業実施主体である協議会が行う検討、計画策定、人材育成、広報、連携事業の試行的実施等の活動全般

4. 交付率

定額（上限は2500万円の予定）

5. 事業実施期間

平成21年度から平成22年度まで

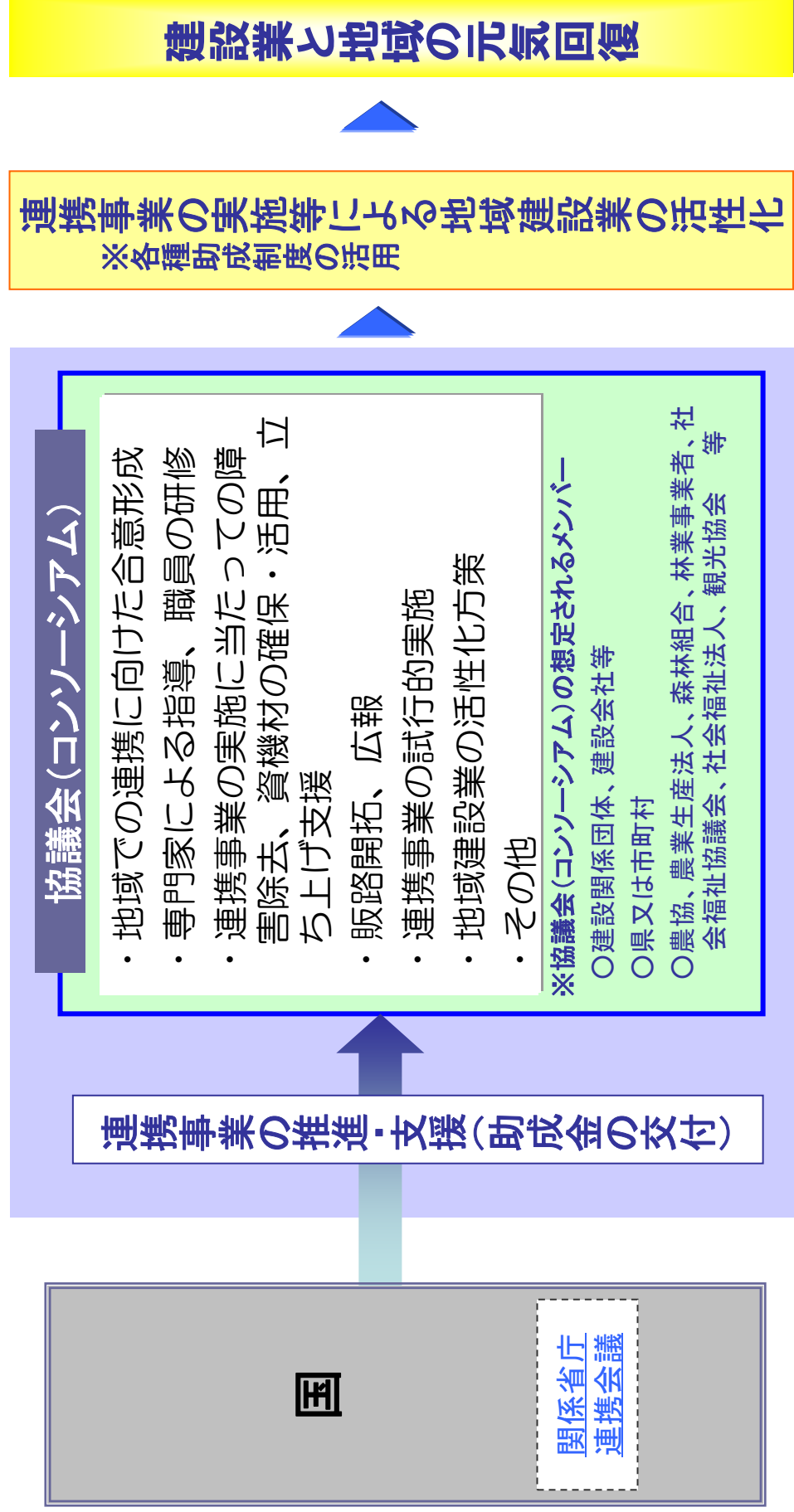
6. 平成20年度補正予算額

35億円

建設業と地域の元気回復事業

地域の中小・中堅建設企業が、その保有する人材、機材やノウハウ等を活用し、農業、林業、福祉、環境、観光等の異業種と連携しながら、地域の活力の向上に資する、地域の創意工夫を活かした事業を実施するに当たって、その立ち上げを支援。

平成20年度2次補正
予算額 3,500百万円



地域における建設業と観光分野との連携について

「元氣回復事業」による協議会の活動(例)

- ・地域の合意形成
 - ・地域における潜在的な新しい観光資源の発掘
 - ・必要な機材等の有効活用方法の検討や人材の育成(研修等)
 - ・公的部門が管理する観光施設の活性化方策の検討(指定管理者制度等)
 - ・連携事業の試行的実施
 - ・建設業の活性化方策の検討
- 等

観光協会等と建設業との連携事業の実施

期待される効果(例)

観光業

- ・観光客の増加
- ・関連産業の発展

建設業

- ・所有の機材や遊休土地、施設を有効活用した建設事業の増大
- ・ノウハウを活用した、指定管理者制度による運営受託
- ・リニューーアルやバリアフリー化等の施設整備、駐車場・歩道・自転車道等の公共施設整備への参画

地元自治体

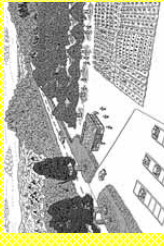
- ・観光の振興
- ・雇用の維持、地域経済の活性化
- ・魅力ある地域づくり

連携事業の具体例

○富山県の建設企業の取組

地域交流の一環として、観光農園・体験型農場事業を展開

道路沿いにある自社の資材置き場を活用し、地域交流や農林業振興など地域振興の拠点に生まれ変わらせる。将来は「道の駅」の誘致も計画。



○東京都の建設企業の取組

地元資源を活かした名物サービスの営業展開

工船用船舶の運航経験という自社の経営資源を活かして、屋形船でもんじや焼きを提供するサービスに進出。



地域における林業と建設業との連携(林建共働)について

「元氣回復事業」による協議会の活動(例)

- ・地域の合意形成と林業、建設業間の相互理解
 - ・間伐を進める上で必要な作業道等路網整備の進め方の検討
 - ・人材の育成(研修等)と必要な機材の調達方法の検討
 - ・用途開拓を含めた間伐材の利用促進の方策の検討
 - ・連携事業の試行的実施
 - ・地域建設業の活性化方策の検討
- 等

森林組合等と建設業との連携事業の実施

期待される効果(例)

林業

- ・路網整備による効率的な間伐の促進
- ・地域材の需要増や有効活用
- ・持続的な林業経営への寄与

建設業

- ・既存の人材、機材等を有効活用した路網整備
- ・河川の多自然型護岸工等の公共工事における間伐材の積極的な活用
- ・地域材を活用した住宅づくりの促進

地元自治体

- ・地域産業の振興、育成
- ・雇用の維持、地域経済の活性化
- ・魅力ある地域づくり

連携事業の具体例

○岐阜県・飛騨地方の取組

ひだ林業・建設業森づくり協議会の設立

森林施業の担い手である森林組合と人的資源や装備を持つ建設企業による建設業協会が連携して発足。



○群馬県の建設企業の取組

間伐材を活用したヒートアイランド対策として有効な保水性平板の開発

特殊セメントで土系舗装を行ってきたノウハワを活かして、間伐材(ウッドチップ)を成形固化し、従来のコンクリート製品に比べて軽量で滑りにくく足への衝撃も少ない保水性平板を新製品として開発。

